

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還） 53

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43851">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43851</a>

推名外相、ワトソン、高等弁務官公談 (昭三九・七・三〇)

アメリカ局長  
参事官  
北米課長

極秘

ワトソン高等弁務官表敬の際の  
大臣作樂言要領

貴官が作樂の途中、作樂中に  
ゆらず、本日のゆづり来訪されたことに  
を申し上げます。

此の問題は打撃の理由に起因する  
沖縄に於ける政情の混乱は日本の政界  
(及び市民の関心を喚起)  
報道界は勿論、一般の民衆も注目している  
日本政府としては、たゞ沖縄の政情不安が  
承く続くことは沖縄住民のために不幸であ  
ることを憂うが、ゆが国民一般の意見を判別  
し、ひいては日米間の友好関係に悪影響を及

資料

資料

17日、~~その~~事態を憂慮されたので、その1日  
早い正常化を希望している次第である。

1 昨年3月、沖縄住民の自治権の拡大と  
不必要な自由制限の撤廃を認めたケネディ大統

領の声明が発表された後、沖縄の住民はそ  
の後の米国の施政に対し、多大の期待を寄せた  
のである。しかし、その後の沖縄の施政は  
必ずしも同声明の精神に沿って行なわれて

いないように見受けられる。ゆがゆがは、  
米国の施政の浸透という沖縄統治の現状は  
沖縄を植民地たらしめることに似て、同調  
する地域の富と平和を確保する必要に迫ら  
れるのではないかと、米之次大統、207を

資料

今日、極めて高い民度を有し、  
外国の実質的な支配にあるという意味で、  
（他に例はない）（状況は早急の）  
縄文世界でも稀な変則的な地域である  
ことは否定し得ないを考へ、  
この状態に古くからいるのは、極東地域の  
安全と平和確保する必要に於てである  
ことには、日本政府としてよく理解している  
沖縄に対する種々の施策は、同様に古くから  
変則的な状況に古くからいるという事態を  
直視し、古くから変則的な状態から生じた  
住民の不满を軽減し、日米間の摩擦を未然

に回避するよう努めることと信  
ずる。特に、  
高責任者として特に沖縄住民の自治権  
の行使の行状を多岐に  
大の真摯な要求に対して、  
基本である理解と寛容の精神をもって対応さ  
せることを希望したい。  
このようにして現地住民の信頼と協力を  
確保することは、同時に沖縄における軍事基  
地の安定性と有効性を増加する所であり、  
米国の沖縄施政の目的にも合致するものであ  
ると信ずる。

行なり  
(以下~~は~~は書院会の上で裁量あり  
加えて裁量あり。)

現地に着任の上は、現地の事情と住民の  
希望を調査し、沖縄の施政が円滑明瞭  
に行なわれるよう作配を願った。  
(早くに解決を要する問題があること)  
また、最後に一言つけ加えさせて頂きたい  
日本本土、沖縄間のマイク回線の施設は日本  
政府および日本電報公社の援助により既に  
完成し、昨年12月からいつでも使用し得る  
状態になつてゐる。料金の分収等の問題  
が未解決のため未だに利用されてゐない  
現状である。同施設の完成に多大の希望  
を寄せていた沖縄の住民は、同施設の完成

後半年以上も利用されず放置されて  
いることに~~痛く~~<sup>残念</sup>失望してゐる。万一、分収等の  
問題が解決しないままオリンピックの突次派遣  
も受信できないというふうな事態に~~なると~~  
沖縄は勿論、日本においても重大な政治的  
問題となる虞がある。日米関係に与つた悪影響  
も考へらるべき。政府としても、本問題の  
解決には多大の関心をもつてゐる次第である。  
→ 本問題は本来日本、琉球、西電の公社間  
で解決するべき問題であるが、その政治的な  
重要性に~~よ~~<sup>（西国）</sup>よ、日米政府~~も~~<sup>も</sup>、その解決

促進の努力)

~~七橋閣内~~ であること、また、先方には約1カ月前に政府としての解決案を先例に提示した次第である。本件の早急な解決のため、貴官の理解と協力を大願いたします。

アメリカ局長

参事官

先案課長

推名外務大臣、ワトソン高等年務官

会談要旨

3.9.7.31  
アメリカ参事官

日時

7月30日 午後11時-11時45分

出席

ワトソン大使、アメリカ参事官

西堀参事官、有馬参事官(通訳)

外務大臣、貴官が御赴任の途中御多忙に拘らる

本日わざわざ来訪したことに御礼を申し

上げる。

沖縄における政情の混乱は日本の政界、

報道界は勿論一般の注目を浴びて

いるが、沖縄の政情が一日も早く平常

化することを熱望している。

日本政社としては、かゝる沖縄の政

ワトソン、日本政府の沖縄問題に關する考え方を披露して頂いて感謝する。

1962年 ケネディ 大統領の新政策、これは 現 ジョソン 大統領により 確認 されていゝところである。自分もこの精神に則つて 沖縄施政を行つてゆく積りである。只今 貴大臣は 沖縄におけるアメリカの基地が 極東における自由諸国家の防衛に与つて 如何に大切であるか、と云ふことへの御認識をうかがうことが たいへん である。

自分は又 琉球人を 被害の目的、生活 却面 するに よく 理解し、同情をもつて 考えたいと云ふことについては

全く同感である。

要するに 政策とか、その政策決定の爲の 手続と云ふものよりも、人が重要なのである。沖縄に 強力な 防衛線を 維持する目的も、こゝに住む人々、更には日本の 人人、更には 極東の人々の、現在の生活と 将来の生活を 保護するに云ふのが 目的である。こゝで 私は 貴大臣に対し、沖縄住民の 安寧、生活の <sup>福祉</sup> 向上、今後も 引續いて 向上させようとする <sup>(私的の努力を基に)</sup> 御努力に 自分自身の 限りの能力を もつて 知性ある 思慮 "intelligent thought" を 指針として 行く <sup>にまつて 和の空気を 大に 奏</sup> 仕の 遂行に 御指導を 仰ぐと云ふことを 確認 します。

大臣、私から申し上げたことを充分に吸収、理解し、頂いたことに感謝する。  
貴官による沖縄の施政は必ずやうまく行われるとこのことを確信する。  
ワトソ、御信頼頂いて有難く思ふ。只米国においでし日本においでし民生の向上とこのように進行的に行われることであつて革命的に行われるものではない "evolution, not revolution" である。  
私は沖縄においでし素<sup>跡</sup>を行<sup>跡</sup>うるものではない、然しやつてみる積りである。

大臣、大変有難く思ふ。  
ライヤウ、極東の防衛、沖縄住民の民生向上、何れも基本的に日米両国の

国家目的に合致する、とゆふである。

東京米國大使館は日本と沖縄との間に立つて日米の出来る限りの緊密な協力態勢の確立に努力し、沖縄におけるどのような困難な事態又は複雑な<sup>情</sup>勢に於いて日米間の密接な連絡により解決するよう努めたいと思ふ。

大臣、ライヤウ大使は沖縄の事情を充分に承知しておられるから今後ともよろしく申す。私も問題解決のために特段の努力をする積りである。

ライヤウ、ワトソ中將の奇<sup>跡</sup>を行<sup>跡</sup>うるものではないと言われ<sup>た</sup>が、いさゝか失望させ<sup>た</sup>が人間とゆうものは相互に



充分意見を交換する事は困難な問

題については何等かの解決方法を考え

出すものである。

ワトソン、その為には大いに努力しよう。

大臣、奇蹟は確かに危険を伴い<sup>て</sup>勝利<sup>を</sup>漸

進的な方法でやつて頂ければ結構

である。

ワトソン、確かにその方がより確かであろう。

ライカー、「遅いが着実に」"slow but steady"

である。

ワトソン、沖縄には日本政社の事務所があると

聞いています。自分はその所長と1日も

早く面識を得て私の施政についての

<sup>113113</sup>  
~~色~~の事項については意見を伺う積り

である。彼は恐らく非常に手助け

になると思う。

ライカー、相互の意思疎通の方法は<sup>113113</sup>付~~き~~なルート

がある。例<sup>え</sup>えば最近出来た協議委員

会、技術委員会、ニルル今言われる那

覇にある日本政社事務所、ニルラを

意見交換のために利用される

ワトソン、自分も出来る限り日本にやつて来て

相互に訪問の交換をしたい。と思う。

大臣、全く同感である。

ワトソン、ワシントンでは沖縄については数多くの

ブリーフィングを受けた。そこであつた

ことであるが、ワシントンの関係方面では

沖縄の現在及び将来については深い

関心をもつては、ブリーフィングとゆう

けれども決して「短い」("Brief")

12  
#ものではなかつた。自分がワシントンで  
ブリーフィングを受けたい際、ブリーフィング  
の異会はどうかと或友人が尋ね  
たので自分はブリーフィングというものは  
丁度~~自分~~消防ポンプのホースが  
水を吞みよるものか、少ししか吞みな  
いから体中水浸しになるかと答えた。  
大臣、非常に面白い表現であり新しく大臣  
になった自分も身もつまされる表現  
なので今後拝借しよう。  
ワトソン、何卒、ワシントンで三縄に掛かる深  
い関心と言ったが彼等は三失して  
興奮もせが又感情的にもなつて  
いない。  
ライター、ワシントンの人人は三縄に掛かる

14  
4ネネ、精神に則つて<sup>行</sup>く<sup>リ</sup>と<sup>リ</sup>う<sup>リ</sup>突<sup>リ</sup>つ<sup>リ</sup>い  
ては何の変化もなると言えよと思う。  
ワトソン、全く同感である。  
大臣、ブリーフィングが如ゆる長いものであつて  
も、その核心は極く僅かなものだ。  
高昇年務官として新任のワトソン中将は  
問題の核心を捉へておられるか  
成功は内達りなると思う。  
ワトソン、自分は神を信じ、毎夕神に祈<sup>リ</sup>を捧  
げて自分の行動、考える<sup>リ</sup>~~誤~~をまて  
始している。  
大臣、大変結構なことである。  
御成功を祈る。

秘  
封

大臣 秘書長

政務次官

官房長

アジア局長

事務次官

AUG. -7, 1964

官房総務参事官

陸軍官長

外務審議官

人事課長

改選局長

情報文化局長

外務大臣、ワトソン高等参事官会談要旨

昭和39年8月5日

アメリカ局長

沖縄高等参事官ワトソン中将は赴任の途次

表敬のため7月30日 椎名外務大臣を

来訪したか、この際の会談要旨を御高

覧に供します。

秘

権名外務大臣、ワトソン高等  
弁務官会談要旨 昭和39 7.30  
アメリカ局

日時 7月30日午前11時～11時45分  
同席 西堀参事官、有馬事務官(通訳)  
ライシ+ワ-大使、フランス書記官

大臣 貴官が御赴任の途中御多忙に拘わらず、本  
日わざわざ来訪されたことにお礼を申し上げます。  
昨年3月沖縄住民の自治権の拡大と、不必要な自由制限の撤廃を謳ったケネディ大統領  
の声明が発表され、沖縄の住民は、その後の米  
国の施政に対し、多大の期待を寄せたのである。  
しかるにその後の沖縄の施政は、必ずしも同  
声明の精神に沿って行なわれていないように見  
受けられる。  
この問題に対する各方面の不満を理由に起つ  
たと伝えられる沖縄における政情の混乱は、日  
本の政界、報道界は勿論、広く国民の関心を集  
めているが、日本政府としては、かかる沖縄の  
政情不安が永く続くことは、沖縄住民のために

不幸であるのみならず、わが国国民一般の世論  
を刺戟し、ひいては、日米間の友好関係に悪影  
響を及ぼすおそれもあるので、その1日も早い正  
常化を希望している次第である。

米国による施政権の保持という沖縄統治の現  
状は、極東地域の安全と平和を確保する必要に  
出たものであることは、日本政府としてもよく  
理解しているところであるが、この施政権の行  
使に当っては、ケネディ声明の基本である理  
解と寛容の精神をもつて対処されることを、現  
地における施政の最高責任者としての貴官に特  
に希望したい。

このようにして、現地住民の信頼と協力を確  
保することは、同時に沖縄における軍事基地の  
安定性と有効性を増加する所以であり、米国の  
沖縄施政の目的にも合致するものであると信ず  
る。

現地に着任の上は、現地の事情と住民の希望  
を洞察され、沖縄の施政が円滑明瞭に行なわれ  
るよう御配慮願いたい。

ワトソン 日本政府の沖縄問題に関する考え方を披瀝して頂いて感謝する。

1962年ケネディ大統領の新政策、それは現ジョンソン大統領により確認されているところである。自分もその精神に則つて沖縄施政を行なつて行くつもりである。只今貴大臣の沖縄におけるアメリカの基地が極東における自由諸国家の防衛にとつていかに大切であるかという事についての御認識をうれしく伺つた次第である。自分はまた、琉球人を彼らの目的、生活部面についてよく理解し、同情をもつて考えるということについては、全く同感である。

要するに、政策とか、その政策決定のための手続きというものよりも、人が重要なのである。沖縄に強力な防衛線を維持する目的も、そこに住む人々、さらには日本の人々、さらには極東の人々の、現在の生活と将来の生活を保護するというのが目的である。ここで私は貴大臣に対し、沖縄住民の安寧、生活の福祉を、今後も引續いて向上させて行くために、私のこの重大な

責任の遂行に当つては、自分の出来る限りの能力をもつて、知性ある思慮 "intelligent thought" を指針として行くということを確認します。

大臣 私から申し上げたことを十分に吸収、理解して頂いたことに感謝する。

貴官による沖縄の施政は必らずやうまく行なわれるということを確認する。

ワトソン 御信頼頂いて有難く思う。ただ米國においても、日本においても、民生の向上という上りなことは漸進的に行なわれることであつて、革命的に行なわれるものではない。 "evolution, not revolution" である。私は、沖縄において奇蹟を行ないうるものではない。しかし、やつてみるつもりである。

大臣 大変有難く思う。

ライシ+ラー 極東の防衛、沖縄住民の民生向上、いずれも基本的には、日米兩國の國家目的に合致するところである。在京米國大使館は、日本と沖縄との間に立つて、日米の出来る限りの緊密なる協力態勢の確立に努力し、沖縄における

どのような困難な事柄、または複雑な情勢についても、日米間の密接な連絡によつて解決するより努めたいと思う。

大臣 ライシ・ワー大使は沖縄の事情を十分承知しておられるから、今後ともよろしく願ひする。私も問題解決のために特段の努力をするつもりである。

ライシ・ワー ワトソン中将は奇蹟を行なうものではないといわれ、いささか失望させたが、人間というものは相互に十分意見を交換さえすれば、困難な問題についてもなんらかの解決方法を考へ出すものである。

ワトソン そのために<sup>大</sup>努力しよう。

大臣 奇蹟はたしかに危険を伴いがらだ。漸進的な方法でやつて頂ければ結構である。

ワトソン たしかにその方がよりたしかである。

ライシ・ワー 「遅いが着実に」"slow but steady"である。

ワトソン 沖縄には日本政府の事務所があると聞いている。自分はその所長と、日も早く面談を

えて、私の施設についてのいろいろの事項について意見を伺うつもりである。彼はおそらく非常に手助けになると思う。

ライシ・ワー 相互の意思疎通の方法についていろいろなルートがある。たとえば最近できた警備委員会、技術委員会、これに今いわれた那覇にある日本政府事務所、これらを意見交換のために利用されたい。

ワトソン 自分もできうる限り日本にやつてきて、相互に訪問の交換をしたいと思う。

大臣 全く同意である。

ワトソン ワシントンでは沖縄について数多くのブリーフィングをうけた。そこでわかつたことであるが、ワシントンの関係方面では、沖縄の現在及び将来について深い関心をもっている。ブリーフィングというけれども、決して「短い(Brief)」ものではなかつた。自分がワシントンでブリーフィングをうけている際、ブリーフィングの具合はどうだ、とある友人が尋ねたので、自分は、ブリーフィングというものは丁度

消防ポンプのホースから水を呑むようなものだ、少ししか呑めないが、体中水浸しになると答えた。

大臣 非常に面白い表現であり、新しく大臣になつた自分も身につまされる表現なので、今後拝借しよう。

ワトソン 何卒、ワシントンで沖縄に関する深い関心といつたが、彼らは決して興奮もせず、また感情的にもなっていない。

ライシ+ワー ワシントンの人々は沖縄に関し、ケネディー精神に則つて行くという点についてはなんの変化もないといえると思う。

ワトソン 全く同意である。

大臣 フリーフィンクがいかに長いものであつても、その核心はごく僅かなものだ。高等弁務官として新任のワトソン中将は、問題の核心を捉えておられるから、成功は間違いないと思う。

ワトソン 自分は神を信じ、毎夕神に祈りを捧げて、自分の行動、考えに誤りなきを期している。

大臣 大変結構なことである。御成功を祈る。

事務次官 アメリカ局長 情報文化局長  
外務審議官 北米課長 島内参事官  
官房長 報道課長  
総務参事官 南米課長 国内広報課長

記者会見 (第12号)

情報文化局報道課  
昭和27年7月20日

スポーツマン 椎名大臣  
(ワトソン 沖縄高等弁務官と会談後)

10時15分から約40分、ワトソン高等弁務官(任命  
は8月1日付の予定)と会談。ライシャワー大使、ブランズ  
書記官が同行に来た。

赴任の途中、忙しいところをおいでいただきありがとうございます  
という普通の挨拶の後、私から「昨年3月故  
ケネディ大統領の声明が、発せられたことは御承知

の通りだが、現地情勢は必ずしもその声明の趣  
旨に沿った状況でない。その結果、沖縄の政情  
の混乱を招いたということは誠に遺憾である。  
我々としては、こういう状態を一日も早く回復すること  
を期待してやまない。米国の沖縄における  
施政権の問題は、現実の必要に基づくものであると  
いうことについては十分の理解を持っている。しかし、  
その行施に当っては、故ケネディ大統領の声明の  
趣旨に沿って実行してもらいたいということを希望せ  
ざるを得ない。こうすることが結局、軍事基地の  
安定性を高め、機能を發揮する上に絶対必要



であると考えるのが 新任の最高責任者である貴官

に対し 以上の趣旨が 施政の任に当たっていただく

きたいということも希望する という趣旨のことを話した。

先方からは、もう既にワシントンで 3, 4日ほど

わかり いろいろな現地情勢に対する説明を聞いてきた。結局 米国の狙いとするところと沖縄

住民の安全と幸福というものは 決して矛盾するもの

なくむしろ一致すべきものという信念を自分は持っているのが 十分に 日本政府の御意向に沿うま

う善処したい という意見の申陳があった。

(問) 大局的な話か。

GA-6

外務省

(答) そうな。

(問) 沖縄自民党の混乱している状況などはどうですか。

(答) 詳しくはわかりませんが 十分聞いています。

(問) マイクロウェーブなどはどうですか。

(答) ありません。

GA-6

外務省

南方班  
秘

秘

事務次官  
大森大臣秘書官  
外務審議官  
官房長官  
官房総務参事官  
アメリカ局長  
参事官  
北米課長  
外務大臣主催のソ連沖繩高等弁務官招宴出席者

(昭 39. 7. 22)  
米北 有馬

1. 在京米大使館フランス書記官より、7月30日(木)  
12:30 於白金公邸において開かれ3 推名

大臣主催のソ連沖繩高等弁務官、書翰会の米側陪  
席者として次列の通り連絡越した。  
(京)

ライシャワー大使  
エマソン公使

ザーレン参事官  
フランス一等書記官

2. 在京日米側陪席者は次の通りとした。

日井 総理府総務長官  
古屋 全 副長官  
西堀 三枝 外務省参事官  
三枝 総理府特別地域連絡局長

通譯 (米課 有馬参事官)

権名大臣主催ワトソン中将招宴における  
大臣挨拶 昭和三十九年七月三十日

この度米国高等弁務官の重責を負って琉球に赴任されるワトソン中将と、本日ここに昼食をともにしつつ話し合う機会をえましたことは、私の喜びとするところであります。

また、今回中将が短い滞日に拘わらず、総理大臣はじめ日本政府要路の人々と会談の機会を持たれたことを、われわれ政府関係者は大変うれしく思っております。

現在の世界情勢におきましては、アジアの平和を維持するため、琉球諸島にある米国の軍事基地が必要欠くべからざる役割を果たしていることは申すまでもありません。しかし、米国をはじめ自由主義

諸国が理想とし、その実現に努めているのは、このような基地を必要としなくなるような世界平和の達成であります。そのためには、日本政府も、国民も米国との協力を惜しむものではありません。

その間、米国政府の琉球施設に当っては、十分琉球住民の民意を汲んでいただきたいのであります。私はそれが琉球住民のためならず、米国の在琉球基地が十分その効果を發揮するためにも大切なことであると信じております。

私は、ワトソン中将が、沖縄上陸作戦に参加され、戦後は進駐軍の一員として日本に駐在されたと伺っております。ワトソン中将が因縁浅からぬ極東に対する知識と理解に加え、ベルリン駐在米軍司令官等困難な地位において示された能力をもつて、政治的にも、軍事

的にもきわめて微妙な琉球問題のよりよき解決のため努力されることを私は心から願つてやみません。

琉球は日本に近いことでもあり、われわれも折々あらば訪れさせていただきたいと存じますが、中将も日本にこられてわれわれと意見の交換をされることを希望している次第です。

最後に、ワトソン中将の新しい任地における成功と健康を祈つて御挨拶いたします。

Minister Shiina's Statement at Luncheon  
given in Honor of Lt. Gen. Watson

General Watson, Ambassador Reischauer  
and Gentlemen:

It gives me a great pleasure,  
General Watson, to have this occasion  
of exchanging our thoughts in this  
informal atmosphere. Also, I should  
like to say that those of us in the  
government concerned with the problem  
of the Ryukyu islands are very pleased  
with the meetings you have had with  
the leaders of our government including  
the Prime Minister in spite of the  
brevity of your stay in Tokyo on your  
way to the Ryukyu Islands as U. S.  
High Commissioner.

Needless to say, under the present  
circumstances of the world, the U. S.

military

樞  
外  
大臣  
接  
見  
の  
場  
合  
(  
ワ  
ト  
ン  
ン  
君  
の  
来  
日  
に  
関  
し  
て  
)

- 2 -

military bases on the Ryukyu Islands play  
an indispensable role for the maintenance  
of peace in Asia. Nonetheless, the United  
States and the nations of the free world  
strive to achieve is the world wherein  
the presence of such military bases as  
established in the islands will no longer  
be needed. And, of course, we spare no  
effort in cooperating with the United  
States to achieve this noble ideal of  
us all.

Meantime, however, I do wish that  
the United States government, in adminis-  
tering the islands, will take due note  
of the wishes of the inhabitants of the  
Ryukyu Islands. I believe that this will  
benefit not only the people there but  
also maximize the effectiveness of the  
military bases.

General

- 3 -

General Watson, I understand that you participated in the landing of the Okinawa and after the war you were stationed for a while in Tokyo as a member of the Occupation Forces. I honestly hope that you will combine your understanding and sympathy of the area with the remarkable ability you have exhibited in such difficult posts as the Commanding General of the U.S. Forces in Berlin and strive for a better solution of the delicate and sensitive problems of the Ryukyu Islands. The islands are near to Japan. If occasion permits, I will visit the islands. I hope that you will be able to reciprocate the visit to us so that we may be able to exchange our views in a frank and easy fashion.

I hope

- 4 -

I hope for your great success in your new post, General Watson and pray for your health.